

■ 浜松地域産業支援ネットワーク会議（産学官連携支援体制）

浜松地域では複数の産業支援機関がネットワークを組み、一体となって地域企業を支援する仕組みを整えています。まずは当財団へお問い合わせください。産業支援のワンストップ窓口として、ご相談内容に合った適切な支援機関をご紹介します。

構成団体	浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会 西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県浜松工業術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、(独)中小企業基盤整備機構 浜松イノベーションキューブ(HI-Cube)、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)ジェトロ浜松
------	---

■ (公財)浜松地域イノベーション推進機構 概要・沿革

設立	昭和56年(1981年)3月
代表者	理事長 長田繁喜
基本財産 (出捐金)	605,700千円(浜松市71%、静岡県9.9%、その他19.1%) ※令和8年4月現在
沿革	昭和56年(1981年) (財)ローカル技術開発協会を設立 昭和58年(1983年) (財)電子化機械技術研究所を設立 平成3年(1991年) (財)ローカル技術開発協会と(財)電子化機械技術研究所を統合、 (財)浜松地域テクノポリス推進機構と改称 平成19年(2007年) はままつ産業創造センターを開設 平成21年(2009年) (財)静岡県西部地域地場産業振興センターを統合 平成24年(2012年) (財)浜松地域テクノポリス推進機構とはままつ産業創造センターを統合、 (公財)浜松地域イノベーション推進機構として新たにスタート 平成29年(2017年) フォトンバレーセンターを設置 平成30年(2018年) 次世代自動車センターを設置
機関認定	認定経営革新等支援機関(経済産業省所管) 標準化活用支援パートナー機関(経済産業省所管) (一社)静岡県発明協会の知財総合支援窓口浜松支所
組織図	

公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation
<https://www.hai.or.jp/>

□ 総務企画部・事業推進部 □ 次世代自動車センター

●スマートものづくり支援デスク ●はままつ脱炭素経営支援デスク

〒432-8036 静岡県浜松市中央区東伊場2丁目7番1号 浜松商工会議所会館8階
TEL:053-489-8111 FAX:053-450-2100 E-mail:info@hai.or.jp

□ フォトンバレーセンター

〒432-8561 静岡県浜松市中中央区城北3丁目5番1号
静岡大学浜松キャンパス内 イノベーション社会連携推進機構204
TEL:053-471-2111 FAX:053-471-2113 E-mail:photonvc@hai.or.jp



イノベ



次世代



フォトン



中小企業の皆様に役立つ情報を発信しています



メールマガジン配信 是非ご登録ください
<https://www.hai.or.jp/mailmaga/>



X (旧Twitter) はじめました
セミナーや補助金等の情報を
タイムリーにお届け!



2026年5月発行

HAMAMATSU AGENCY FOR INNOVATION

産業支援の
コンシェルジュ



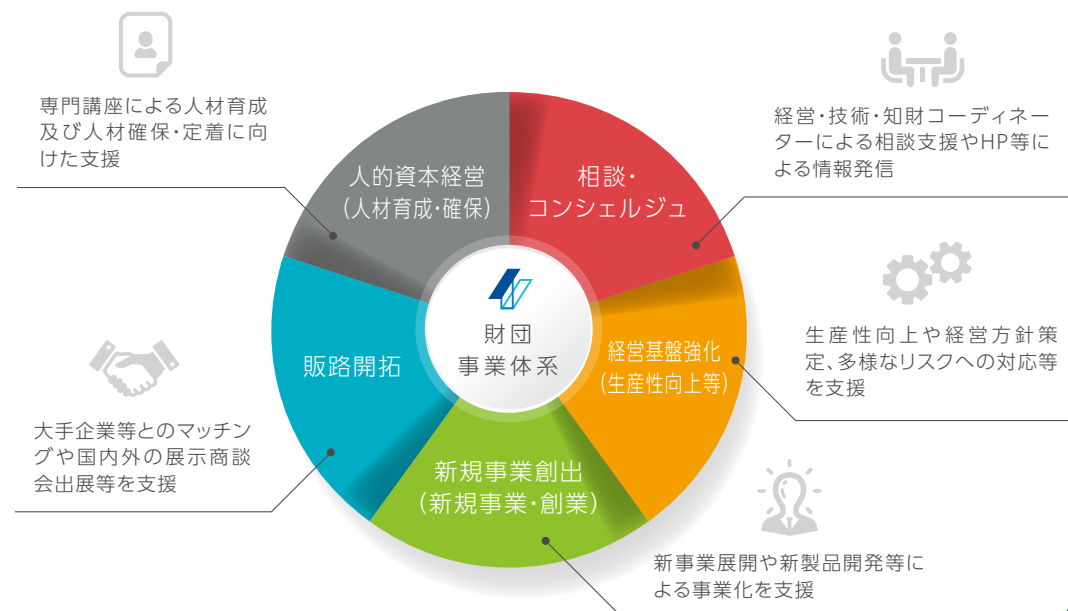
公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

未来を拓く、がんばる中小企業を応援します。

(公財)浜松地域イノベーション推進機構は、浜松地域の中核的・総合的な産業支援機関として、中小企業に対する産業支援施策に取り組んでいます。2026年度は、地域企業が直面する社会・経済環境の変化に対応するため、「経営基盤強化」、「新規事業の創出」、「人への投資」の3つの柱を5つの重点施策に基づき支援を展開し、地域企業が既存事業を磨き、未来への挑戦を両立させる「両利きの経営」を推進することで地域経済の持続的な発展を目指します。

- 浜松地域の中核的・総合的な産業支援機関
- 浜松市が定めた「はままつ産業イノベーション構想」の推進機関
- 静岡県などが定めた「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン」の推進機関

【支援活動の流れ】 経営・技術・知財コーディネーターが在籍し、企業訪問によるきめ細やかな相談対応を行う出張型のワンストップサービスを実施します。



広域連携推進事業

静岡県西部地域の「ものづくり産業」の持続的な発展を目指すため、静岡県及び県西部8市町と連携し、人材育成事業やマッチング支援等の施策を通じて、地域製造業者への支援体制を整えています。まずは当財団または各市町の相談窓口へお気軽にご相談ください。

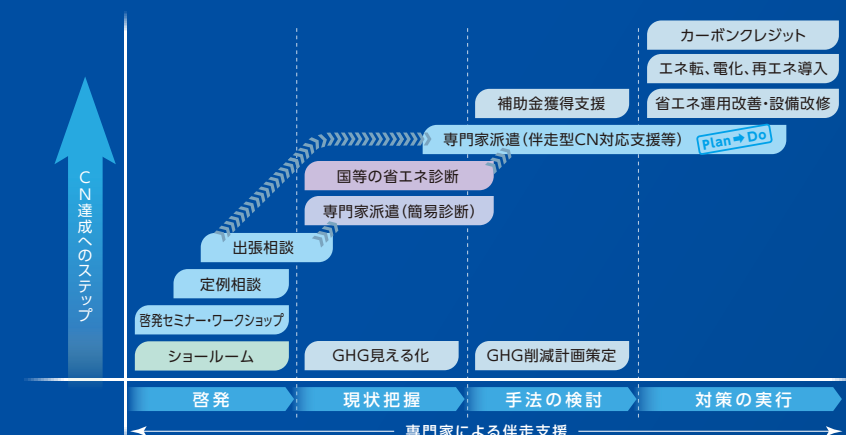


2026年度の重点施策

01 生産性向上支援(基盤強化とリスク回避)

環境の変化により多様化・複雑化する課題に対応し、将来を見据えた新しい経営スタイルを構築するため、DX・ロボットによる自動化・省人化、原価管理、脱炭素経営、事業継続計画策定等、経営基盤強化を支援します。

【主な事業】 経営力強化支援(AI活用型経営方針策定講座、経営方針策定伴走支援)、BCP対策セミナー、原価計算ワークショップ、産業用ロボット教示スクール、脱炭素経営支援 など



脱炭素支援員による省エネ診断

02 稼ぐ力創出支援(構造改革)

中長期的視点に立った両利きの経営など、安定した稼ぐ力による企業チャレンジを推進するため、新技術開発や新規事業化、販路開拓、資金調達など総合的に支援します。

【主な事業】 大手企業等マッチング支援、挑む中小企業プロジェクト2026、浜松イノベーションリング、はままつ新事業創出資金調達促進支援、競争的資金獲得支援、展示商談会出展補助金 など



「挑むプロジェクト」ピッチイベント

03 人的資本経営支援(人材確保・育成)

生産労働人口が減少するなか地域の未来創造に向けて多様な人材が活躍する社会の実現を目指し、地域企業の魅力発信や多様な人材が活躍できる環境整備、会社を担う次世代人材の育成を支援します。

【主な事業】 製造中核人材育成講座、改善推進スクール、工場管理者向けマネジメント講座、はままつ丸ごとオープンファクトリー、人的資本経営推進セミナー、高度外国人材活用支援 など



はままつ丸ごとオープンファクトリー

04 光・電子技術活用プロジェクトの推進

光・電子技術を活用した新製品開発・生産性向上支援、国内外の販路開拓・ネットワーク構築支援、光・電子技術分野への参入を後押しすることで中小企業のイノベーションを加速させ、事業の拡大・高度化を支援します。

【主な事業】 A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業、光・電子活用チャレンジ補助金、技術相談、ひかり塾、参入啓発セミナー、国内外展示会出展支援 など



A-SAPによる企業の開発支援

05 次世代自動車産業に対応した新事業展開支援

技術革新に伴い進化し続ける車と社会の融合=SDVによる自動車ビジネス産業の変化を見据え、CASEをはじめ次世代モビリティ、カーボンニュートラル、デジタルものづくり、サプライチェーン基盤強化の5つの体系に基づき支援します。●会員企業：508社(2026年4月1日現在)

【主な事業】 次世代自動車ベンチマーク活動(車両分解・部品・試乗)、技術マッチング活動、試作部品等製作支援、技術動向講演会、デジタル人材育成講座、現場改善基礎講座、現場改善実施推進事業費補助金 など



部品ベンチマークルーム